

小規模企業景気動向調査

[平成30年3月期調査]

～前月から一転、建設業以外の3業種で業況が改善した小規模企業景況～

2018年4月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…前月から一転、建設業以外の3業種で業況が改善した小規模企業景況…◇

3月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、資金繰りDIはわずかに改善した。採算DIは不変であった。春の行楽シーズンに入り、3月中旬頃から観光に関連した小売業、サービス業を中心に業況が改善した。経営指導員からは、年度末の資金需要もあり、全体的に貸出態度が積極的な地域金融機関が多いが、企業の資金需要は低調とのコメントがあった。

<製造業> ◇…金属製品・自動車関連部品とそれ以外とで二極化が見られる製造業…◇

製造業の業況DI、売上額DI、資金繰りDIは産業全体と同様にわずかに改善した。採算DIは不変であった。製造業の中でも、金属製品と自動車部品は好調との積極的なコメントがあったが、先月と比べると機械部品・繊維製品・建設機械については消極的なコメントが目立った。そのような中、人材不足を補うために資金力のある企業では設備投資に前向きな声が聞こえるも、従業員の高齢化や人材確保難により、機械を購入してからの生産体制や技術承継に危機感を覚えているとの声も聞かれた。

<建設業> ◇…一定の工事量は確保しつつも、地域により格差が見られる建設業…◇

建設業の業況DIは先月から一転、小幅に悪化した。売上額DIはわずかに改善、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは小幅に改善した。例年と比べると公共工事が少なく、民間工事は堅調とのコメントがあった。域外の仕事を取りに行けるかどうかで、二極化が発生している。また、引き続き人手不足については解消されていないものの、自社でやりくりできる場所は、他社からの請負で売上・利益ともに確保できている。一方で、豪雪のために工事の遅れが発生した地域では、代金の回収に遅れが生じ、資金繰りが悪化しているとのコメントが寄せられた。

<小売業> ◇…一部で売上が改善するも、業種・地域は限定的な小売業…◇

小売業の業況DIは3ヶ月ぶりに小幅に改善した。売上額DIは不変であったが、採算DIは2ヶ月連続して小幅に悪化、資金繰りDIは小幅に改善した。経営指導員からは、3月は先月と比べ天候が良く、行楽シーズンと相まって観光土産物等の販売が好調であったとの声が聞かれた。気温上昇により春野菜の入荷が始まり、食料品小売業では価格高騰の歯止めに期待が持てる状況となってきたが、耐久消費財等では動きが乏しく、売上の低迷、減少に直面している事業者が多いとのコメントがあった。

<サービス業> ◇…観光関連業種とそれ以外とで差が見られるサービス業…◇

サービス業は業況DIと採算DIは小幅に改善した。売上額DIは不変であったが、資金繰りDIはわずかに改善した。春の観光シーズンを迎え、地域によってはレンタカー、宿泊施設の稼働状況が上向いてきている。季節需要に乏しい業種では、小売業と同様に人口減少や高齢化などで来客数が減少している。運輸業では、引越需要増で多忙であったが、一方で、人手不足や燃料費高騰により厳しい状況が続いているとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 13.2	▲ 12.5	0.7	▲ 9.2	▲ 7.3	1.9	3.0	3.6	0.6
採算	▲ 16.0	▲ 15.7	0.3	▲ 15.8	▲ 16.1	▲ 0.3	▲ 7.0	▲ 8.6	▲ 1.6
資金繰り	▲ 12.1	▲ 10.4	1.7	▲ 10.5	▲ 8.9	1.6	▲ 6.5	▲ 3.9	2.6
業況	▲ 16.4	▲ 15.7	0.7	▲ 13.0	▲ 11.9	1.1	▲ 2.8	▲ 6.0	▲ 3.2

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 24.8	▲ 24.6	0.2	▲ 21.8	▲ 21.4	0.4
採算	▲ 23.2	▲ 23.9	▲ 0.7	▲ 18.2	▲ 14.3	3.9
資金繰り	▲ 18.3	▲ 16.2	2.1	▲ 13.1	▲ 12.3	0.8
業況	▲ 27.5	▲ 25.3	2.2	▲ 22.4	▲ 19.7	2.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・店舗ごとに増減はあるものの、地域全体でみると観光客の増加に伴い売上も増加している。
(広島県宮島町商工会)
- ・全般的な経済状況に大きな変化はないが、建設業は手堅い業績をあげているところが多いように感じる。一部の町内金融機関は経営計画作成等支援をし、融資案件の掘り起こしをはかっている。
(兵庫県太子町商工会)
- ・3月中旬より天候にも恵まれ気温の上昇がみられた事から野菜等の価格高騰もおさまり、採算性で改善がみられた。
(福島県矢吹町商工会)
- ・奄美大島においては、春休み・卒業シーズンとなり、観光客がかなり増加している。
(鹿児島県あまみ商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・小雪による建設業界の景気の落ち込み(除雪・排雪の減)、町内で働く除雪関連者が落としてくれるお金が今後期待できないことへの不安がある。高齢化が進んでいくことで、減少傾向にある大きな方向性は止まらないが、そこに合わせた経営にシフトしていくことを指導している。また、観光関連は、外国人の受け入れに成功した事業者は飛躍的に伸びた為、事業者のやる気には左右されるが、光はある。金融機関の貸し出しについては、相変わらず好景気の事業者への貸し出しが目立つ。
(長野県信濃町商工会)
- ・前年同月対比では大きく変わりはないが、事業所の決算・申告のデータをみると、トータルでは売上・利益ともわずかではあるが減少している。
また、業種に関わらず好不況の事業者があり、経営者の努力と能力により格差が生じていると感ずる。
(愛知県豊浜商工会)
- ・全般的に横ばいややや売上げ減少の傾向。金融機関は資金需要を探っているが、個社別の対応では慎重な場面も見受けられる。
(山形県もがみ北部商工会)
- ・観光客は週末を中心に増加しているが、個人消費マインドも低く、業況は改善しているとは言えない。一部の製造業以外は小売業も含めて厳しい。建設業も受注案件が少なく、厳しい。
(栃木県那須町商工会)
- ・天候不順、残業代減少に伴う可処分所得の減少等により、小売、飲食、宿泊関連はおおよそ1割から2割売上が減少している。
金融機関は、地元地銀の貸渋りが散見され、地元企業から苦情の声が上がっている。一方公庫マル経は、地域全体で3億を超えており、巡回効果が強く出ている。
(山形県上市市商工会)
- ・地域全般において、経済活動は疲弊している。一部の水産関連事業者においては、好調な経営状態で前年比で売上増となっているが、地域に波及効果はない。金融機関は、貸出に前向きであるが、殆どの事業所は先行き不安があり、新たな設備投資に結びつかない。
(長崎県松浦市福鷹商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・機械製造業は、H30年は好調を保ちそうな見通しである。体力のあるうちに事業承継や機械設備投資関係の準備を進めたいところである。
(長野県信濃町商工会)
- ・ここにきて機械製造業が少し好景気の傾向を見せている。元請企業の海外向け製品が好調の様子である。
(栃木県小山市美田商工会)
- ・金属加工関連の製造業は、年度末の機械メーカーからの営業もあり、思い切った設備投資を行い、更なる売上増を目指している。
(静岡県新居町商工会)
- ・輸出は先月同様に増加基調を保っており、自動車販売台数の伸びがみられていることから自動車部品関連の製造活動は小幅に伸びているところが多い。一般機械部品関連の製造は伸びが鈍りだしている。先行き悪化を予想する事業者が多い。金融機関の貸し出し量も好調を維持。米国の保護貿易政策問題での原材料高騰など先行きを懸念する意見が多い。
(兵庫県川西市商工会)
- ・袋物製造業者においては、持続化補助金の活用やSNS、ホームページ等での直販強化により下請け脱却を図って売上・利益率の向上を図っている事業所もある。
・半導体・電子部品製造加工業者では業界の変動が激しい状況であるが少しづつではあるが業績は回復している。
(香川県高松市中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・製造業引き合いは好調ではあるが、単価引き上げが難しい状況。
(滋賀県長浜北商工会)
- ・機械部品製造業は、長期的な受注の見通しがなく、短期の薄利の注文が続いて、業績改善の見通しが見えない。
(埼玉県宮代町商工会)
- ・金属関連の製造業は、小ロット受注により、収益が上がりにくい状況となっている。
(奈良県平群町商工会)
- 建設機械関連の製造業は、メーカーの海外向け商品売上が不振で、関連企業の受注は減少傾向にある。他の製造業も人手不足と原材料の高止まりなどで収益に影響している。
(香川県さぬき市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・土木関連の建設業は、道路の維持補修等の工事が発注されており、やや良好である。
(青森県南部町商工会)
- ・依然として、建設業は全般に仕事量はあり、自社でこなせる事業者は売上・利益とも確保している。
(愛知県豊浜商工会)
- ・復興関連の建設業は年度末に向けて工期の完了と合わせて売上が伸びている。しかしながら、いまだ完成を見ていない業者も多く新年度以降の売上が見込まれる。
(宮城県本吉唐桑商工会)
- ・水道工事設備工事業者で鉛管取替工事等持続化補助金活用で大幅に売上を伸ばしている。
(香川県高松市中央商工会)
- ・船舶内装工事業者でも、造船が増えており売上は回復している。
(茨城県取手市商工会)
- ・仮設足場業界では引き合いが増加している。理由は、2000年頃のマンション建設ラッシュ時に設置された中高層マンションが改修時期を迎えているためである。このために東京都などを商圏としている当地域の仮設足場事業者では多くの引き合いがある。しかしながら人手と人材が不足している。
(千葉県南房総市内房商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・建築関連の建設業は、震災の影響による住居の建替が主業になっているが、ハウスメーカーの下請けになることが多く、売上はあるものの利益が圧迫されている状況である。
(福島県檜葉町商工会)
- ・人手不足であり、若くて現場を任せられる職人がいない(新人の離職率が高い)。
(埼玉県朝霞市商工会)
- ・小雪による影響が建設業全般にマイナスをもたらしている。町外の仕事を取りにいけているところと、そうでないところの差が開く一方。ただ、町内で動いている建設現場が町外事業者であることも大きな問題の一つである。既存の工務店の力が落ち込んでいの中で、新規工務店を開業しようという動きもあり、その新しい動きに期待したいところである。
(長野県信濃町商工会)
- ・建築業は、豪雪のため工事の遅れから、計画に対し代金回収の遅れが生じており、資金繰りが悪化する。その対応として県の緊急資金の申し込みがある。
(福井県越前町商工会)
- ・公共工事(土木工事)も少なくなってきた中、取れるところが偏っている。民間工事(建築工事)も減少気味である。
(和歌山県串本町商工会)
- ・住宅関連の建設業は、仕事はあるにも関わらず、ハローワークに求人を出しても全く人材の確保ができない状況である。
(茨城県鉾田市商工会)
- ・人手不足が慢性化しており、現場監督や職人不足は深刻である。その影響で工期の長期化や受注機会の喪失もある。また材料費や経費の上昇で利益を圧迫している。
(香川県さぬき市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・食品小売業等は観光需要が高いため、けん引される形で好調。
(沖縄県石垣市商工会)
- ・小売業は、人の集まる場所(道の駅等)は好調であるが、土産品等は日本人よりも外国人向けのパッケージやコンセプトを持ったものがやはり好調である。
(長野県信濃町商工会)
- ・衣料品関係の小売業は入学シーズンを迎え好況となっている。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・食料品小売業では、天候の影響で野菜が高騰していた時期が長く続き、個人消費は低調であります。一方衣料品関連の小売業は徐々に売上は増加に転じているようであります。
(山形県南陽市商工会)
- ・食品関連の小売業は、気温上昇が原因のため、春野菜の入荷が早まり豊富な状態になっている。
(岐阜県高山西商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・食品関連の小売業は、野菜の仕入れ価格が高い状態が続いている。自炊しない復興従事者が顧客の9割以上であるため、惣菜が売れる反面、肉・魚・野菜の生鮮食品のロスが多く原価率が高くなってしまっている。
(福島県檜葉町商工会)
- ・衣料品関連の小売業は、天候不順のため春物の季節商品の売上が伸びていない。
(奈良県平群町商工会)
- ・野菜の価格高騰に落ち着きが見られており、個人消費はゆるやかな持ち直しを感じるが食料関連を除けば、家電製品、衣類販売などでは売上の停滞・減少に直面している事業所が多い。
(兵庫県川西市商工会)
- ・衣料品等季節需要の商品は動きが鈍い。入進学用品については少子化の影響もあり年々売り上げが下がっている。
(長野県佐久市望月商工会)
- ・食料品(米、農産物)小売業は、農繁期へ向けての資材仕入れの月に当たり、肥料農薬がやや仕入れ単価上昇している。
農繁期を前に生産者の高齢リタイヤ・離農がかなり出ている状況である。
(秋田県かづの商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・クリーニング関連のサービス業は、季節の変わり目であるためやや良好である。

(青森県南部町商工会)

・観光客の増加により、レンタカー・宿泊施設等の観光サービス業は、レンタカー不足や宿泊施設満室状態である。

(鹿児島県あまみ商工会)

・春の観光シーズンを迎え、団体の観光客が増え始めている。

宿泊施設や貸切バス等の稼働状況は上向きになっている。

(長崎県新上五島町商工会)

・年度末ということで、卒業式や企業の送別会シーズンとなり飲食業界の売上は増加傾向にあります。

(山形県南陽市商工会)

・洗濯関連のサービス業は、花粉が例年より多いのが原因で、コインランドリーの利用者が増えた状況になっている。

(岐阜県高山西商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・観光関連施設は、暖かくなり始めて人出は少し出てきたように思われる。

クリーニング業、理美容業は、小売業と同様に人口減少、高齢化などで顧客が減少している。

(愛知県豊浜商工会)

・個人消費はゆるやかな持ち直し傾向ではあるが、売上改善にはつながっておらず前年維持を保持するのがやっとである。飲食業では、歓送迎会シーズンに向けての売上増加を期待している。

(兵庫県川西市商工会)

・宿泊業関連のサービス業では、大手宿泊施設への応募が多く、中小宿泊施設では求人を出しても人材が集まらない状況となっている。

(茨城県鉾田市商工会)

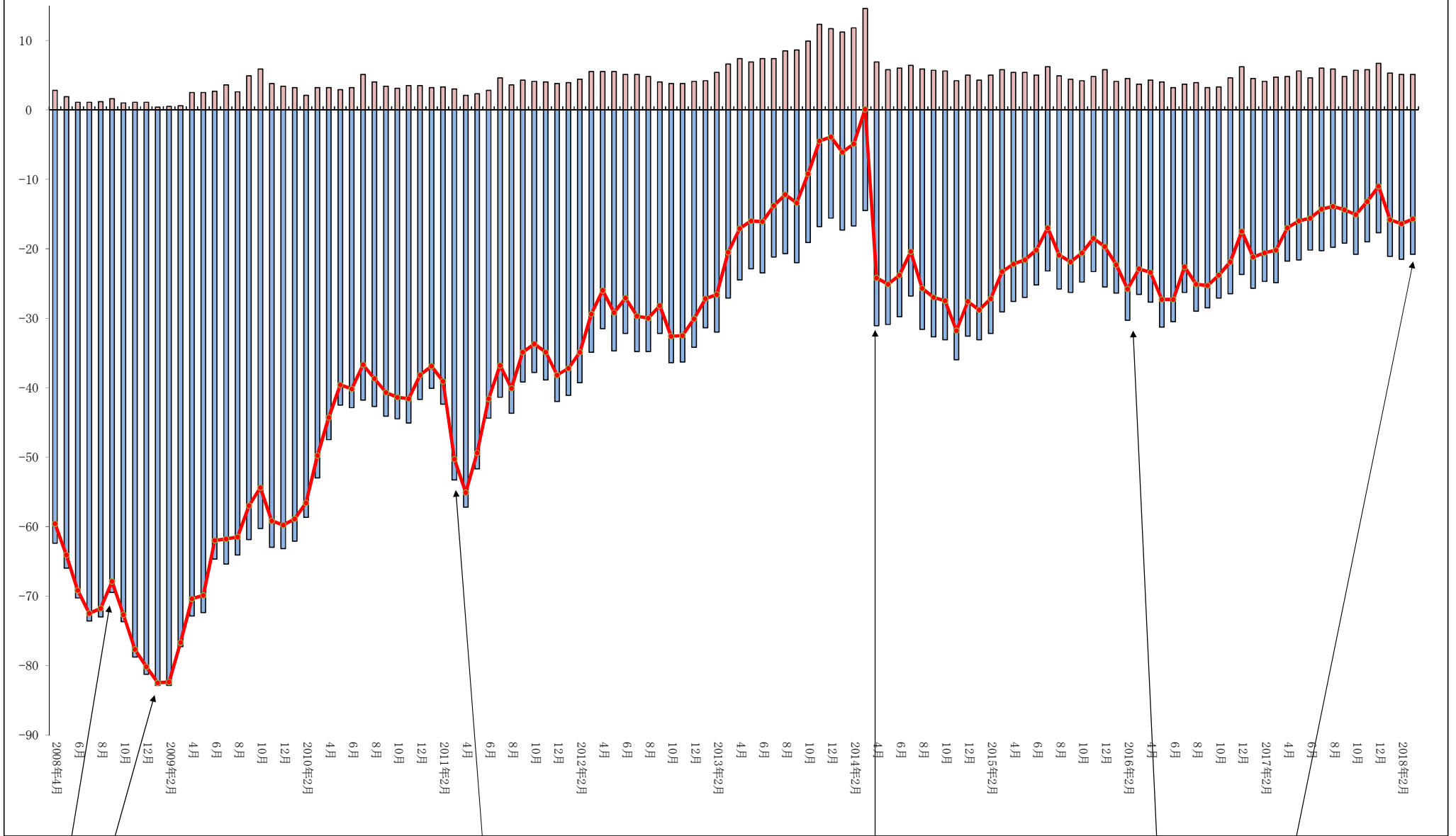
・運輸関係は、年度末で多忙であったが、燃料費や経費の上昇で厳しい状況が続いている。飲食関連も材料費の高騰で、量を工夫して対応している。

(香川県さぬき市商工会)

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/3月
-15.7